

TBグループ 会社概要 & 成長戦略



6775 東証2部
株式会社TBグループ

<お問合せ先>

経営管理本部 本部長 信岡 孝一
〒113-0033 東京都文京区本郷3-26-6
Tel ; 03-5684-2321(代) Fax ; 03-5684-2320

2019年

1. 経営理念と社名の由来、2018年度経営スローガン

<経営理念>

喜んでもらう喜び 己も喜びたい (FOR YOU)

<社名 TBの由来>

①トレンドイビジネス(TB)を目指します。

時流の「環境」「健康」「観光」のグッド3K市場でニッチトップシェアをとる事業を行います。

②トータルワンストップビジネス(TB)を目指します。

メーカーからソリューションビジネスまで、ワンストップで顧客満足の高いビジネスを行います。

<2018年度 経営スローガン>

「3C(チェンジ チャンス コネクト)でNEXTステージへ！」

①「チェンジ(変化)」は、半旧倍新を更に進める前向きの攻めの戦略とします。

②「チャンス(好機)」は、新規事業が芽を出し始めました。LEDにおける高精細フルカラービジョン、iサイネージ、SAのレジ・POSにおけるクラウド対応レジ、インバウンドにおける「IPTV活用スマテレ®」、病院・介護施設向け「スマートヘルスケア」等を有力企業との「共創」と「協業」戦略で収益化を図ります。

③「コネクト(つながる)」は、ハードセールス主体の収益モデルから、ハード+システム+情報・保守サービスのソリューション型収益モデルの拡充を図ります。

2. 会社概要

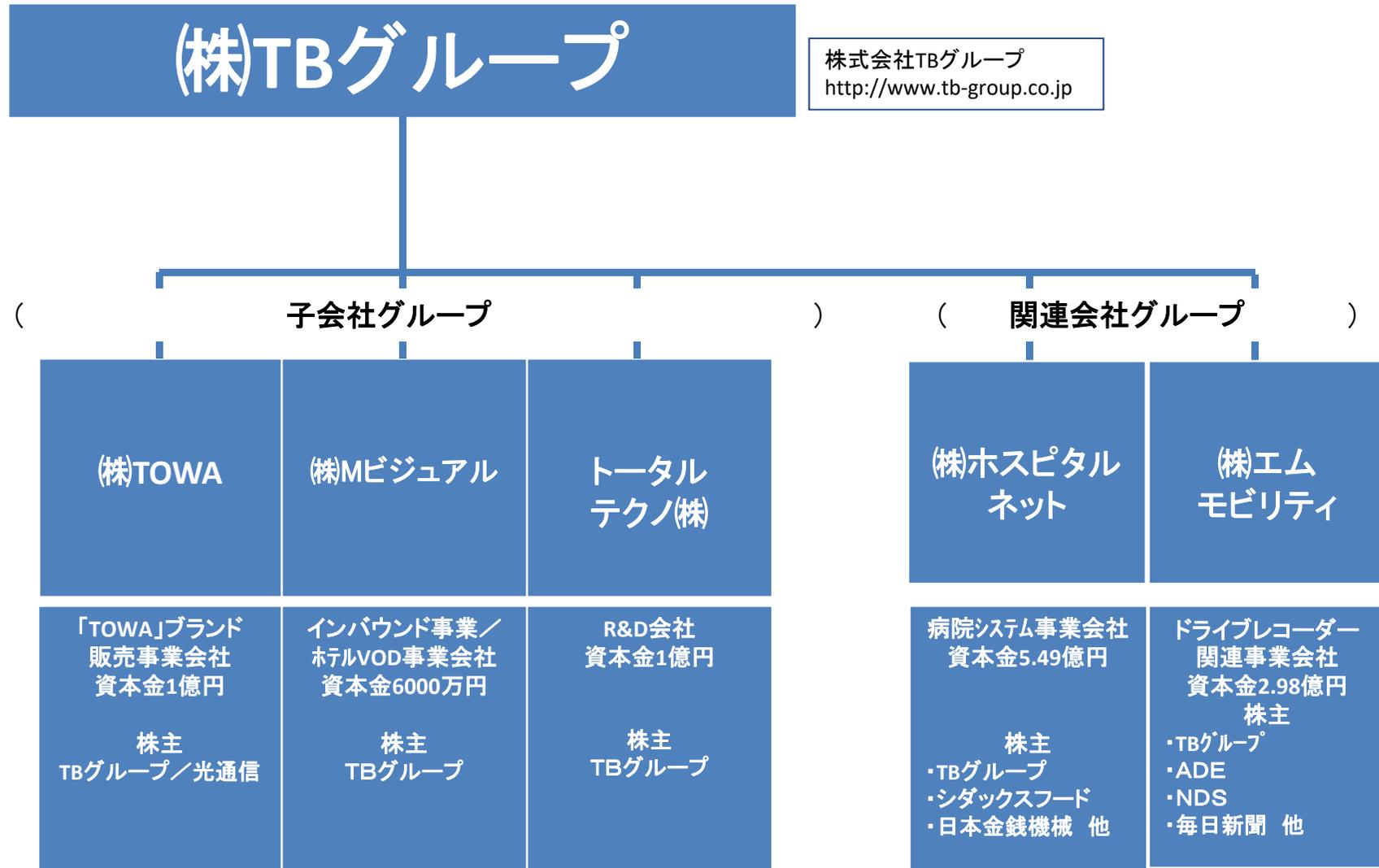
| | |
|-------|---|
| 会社名 | 株式会社TBグループ |
| 代表者 | 村田 三郎 |
| 設立 | 1946年11月6日 |
| 本社所在地 | 東京都文京区本郷3-26-6 |
| 資本金 | 39.5億円 |
| 上場取引所 | 東京証券取引所市場第2部(証券コード6775) |
| 従業員数 | 連結152名、単体63名 |
| 事業内容 | ①LEDサイネージ&ソリューション事業 ②レジスター・POS・フィンテック機器メーカー ③インバウンド・ホテル「スマテレ®」事業 ④まゆ玉カプセルホテル事業 ⑤スマートヘルスケア事業 ⑥ドライブレコーダー、テレマティクス事業 |

2.1 技術・商品開発力...普及率ゼロ・業界初(PAT保有)の歴史

| 創業~1970年代 | 1980年代 | 1990年代 | 2000年代 | 2010年以降 | 今後 |
|--|--|---|--|---|----|
| <ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータ発明 ・トランジスタ発明 ・LED発明 ・マイコン/PC誕生 | <ul style="list-style-type: none"> ・家庭用VTR発売 ・3D映像第2次ブーム | <ul style="list-style-type: none"> ・携帯電話誕生 ・マルチメディア元年 ・Webブラウザ登場 ・インターネット元年 | <ul style="list-style-type: none"> ・プラズマTV登場 ・デジカメ登場 ・iMac/iPod登場 ・DVDレコーダ登場 | <ul style="list-style-type: none"> ・iPhone/iPad登場 ・掃除ロボット・ルンバ登場 ・ブルーレイ登場 | 今後 |



2.2 グループ構成



3. 人脈

安藤 国威(あんどう くにたけ) 氏

<略歴>

昭和17年1月1日生
昭和44年 ソニー株式会社入社
昭和54年 ソニー・プルデンシャル生命保険株式会社(現ソニー生命保険株式会社)代表取締役常務
平成6年 ソニー株式会社取締役
平成12年 ソニー株式会社 代表取締役社長兼COO
平成17年 ソニーフィナンシャルホールディング株式会社 代表取締役会長
平成23年 ソニー生命保険株式会社 名誉会長

(株)TBグループ 特別顧問

(株)エムモビリティ 取締役会長

中澤 信雄(なかざわ のぶお)氏

<略歴>

昭和19(1944)年8月7日生
1968年 4月 野村證券株式会社入社
1996年 6月 同社代表取締役専務(投資銀行兼国際金融)
1999年 6月 国際証券株式会社代表取締役社長
2002年 9月 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社代表取締役社長
2004年 6月 三菱UFJモルガン・スタンレー国際投信株式会社代表取締役会長
2006年 4月 事業創造大学院大学学長
2010年 6月 東京コーパス総合研究所代表取締役社長(現任)

(株)TBグループ 顧問

中島 義雄(なかじま よしお) 氏

<略歴>

昭和17年3月30日生
平成5年 大蔵省(現財務省)主計局次長
平成12年 京セラミタ(株)代表取締役専務
平成17年 船井電機(株)取締役執行役員副社長
平成21年 セーラー万年筆(株)代表取締役社長
平成29年 (財)日本価値協創機構特別顧問(現任)

(株)TBグループ 社外取締役

藤野 公孝(ふじの きみたか)氏

<略歴>

昭和23年5月29日広島県生
平成11年 運輸省運輸政策局観光部長
平成12年 大臣官房 総務審議官(退官)
平成15年 参議院議員
平成18年 国土交通大臣政務官
平成27年 (一社)全日本社寺観光連盟会長
平成29年 (一社)宿泊施設関連協会最高顧問

(株)Mビジュアル 顧問

4. (株)Mビジュアルの成長戦略(インバウンド事業会社)

| | |
|---------|---|
| 1) 設立 | ・平成13年10月1日 |
| 2) 資本金 | ・6000万円 |
| 3) 代表者 | ・代表取締役社長: 清水 洋一郎 元JTBコミュニケーションズ代表取締役 |
| 4) 主要株主 | ・TBグループ(100%) |
| 5) 事業内容 | <p>①インバウンド IPTV事業 ホテル向けPTV “スマテレ ” による多言語放送&e-コ マース事業</p> <p>② AIロボットサービス事業 ホテル向け“案内&デリバリーサービス ロボット“MDR-1”</p> <p>③ インテリジェント タブレット事業 ホテル向けインテリジェントタブレット サービス “INT-TAB”</p> <p>④ハイスピードWifiサービス事業 ホテル向け高品質Wifiサービスをゲスト テック&アルテリアと事業提携して展開</p> <p>⑤多言語音声ペン事業 有名観光地および企業ミュージアム向け 多言語ガイドサービス</p> <p>⑥多言語LEDサイネージのレンタル& ソリューション事業 街角サイネージ展開中!</p> |

<市況動向>

2018年は3,119万人(前年比+8.7%)と3千万人の大台を超え過去最高に!!

日本政府観光局(JNTO)は2018年の訪日外国人客数は、過去最高の3,119万人と発表。また旅行消費額(速報)は4.5兆円と2011年(8,135億円)から、7年連続で増加したことを発表した。7月の西日本豪雨など災害の影響で、一時は旅行者の減少が見られたものの、クルーズ客の増加や、訪日旅行プロモーションにより、順調に旅行者数は増加した。

国籍・地域別にみると、中国がトップで838万人、1兆5,370億円消費額と全体の3割を占める。

2020年、日本政府は訪日外国人旅行者を4,000万人、訪日客旅行消費額は8兆円を目標としており、宿泊施設の増強や地方への回遊や、体験型消費の促進など国をあげての施策が必要。



4.1 ホテル向けAIロボットサービス

ホテル向けAIロボットサービスを日本国内向けに販売開始する。ホテルの客室案内及びデリバリーサービスの無人化を実現。出前サービスアプリと連動して近隣店舗からデリバリーサービスで収益拡大をめざす。

(株)TBグループ・(株)Mビジュアルは2016年より(株)国際電気通信基礎技術研究所(ATR)が共同で接客ロボットによる観光案内実証試験を実施。

この度ロボットサービス事業の一環として上海大学のベンチャー企業Limig Technology社と協働し多言語デリバリーロボット(MDR-1)を同社のホテル向けサービス事業として開始する。

多言語音声対話機能をもち自動測位システム搭載して施設案内サービスや客室への各種物品や飲食物料などのデリバリーサービスを行う。デリバリー機能としては46リットルと大容量の商品搬送能力があり、スマホやホテル内の電話と連動した呼び出し機能を持つ。

またカメラ搭載で画像認識可能で見回り機能を有する。時速4km程度で走行し斜度10度の坂道登攀が可能で12時間連続稼働でき、稼働時間や作業内容が遠隔のスマホで見ることができる。また今後はホテルの自動受付機との連動による自動案内サービスを予定。



MDR-1



案内機能

デリバリー機能

エレベーター制御

自立充電

自律運転機能

多言語機能

4.2 インバウンド「スマテレ®」

最先端の技術で新たな客室インターネットテレビを提供！基本的にはAndroidスマホでできることがテレビで出来る「スマテレ」。音楽、映画、海外テレビ番組やYou Tube, ゲームなどコンテンツや観光案内やグルメ案内など多様な情報を大画面のテレビで見たり、調べたりできる。



従来のVODに代わる新ホテル客室テレビシステム

- スマテレには多様なアプリが搭載(アフィリエイト)
 - ・映画コンテンツ Hulu, U-NEXT, DMM (予定)
 - ・グルメ案内 くるナビ ・観光案内 JTB(予定)
- スクリーン・ミラーリングサービス機能付き
- オンラインショッピング “JAPAN TREND”
- 多言語対応 広告配信機能
- インフォメーション・メッセージ・アンケート機能付き
- ホテルスタッフ清掃管理支援機能

4.3 ハイスピードWifiサービス

ホテル向けハイスピードWifiサービスを世界最大のホテルWifiサービス企業ゲストテック社および東証1部上場アルテリア・ネットワークスと組んで実施する。

今後は日本のホテルのWifi品質の格付け～WiFi品質基準認定制度の導入を推進する。

日本のホテルのWifiは世界と比べて遅い！
人気観光地ランキング※1上位2都市のパリ、ロンドンと比較すると、日本のホテルは最高速度が遅く、1Mbps以下のホテルが多い状況にある。



世界108か国のハイエンドホテルのネットワークを持つ北米ゲストテック社およびアルテリアネットワークス(東証1部上場)と昨年12月事業提携を実施した。日本におけるハイエンドホテルへの高品質・高速Wifiサービス事業を展開する。



5. 新たなビジネスモデルの創出!

レジ/POS分野

戦略: 市場掘起し奪回。

→ 業界シェア (7万台) 奪回!

- ① 軽減税率補助金制度の特需継続
- ② キャッシュ特需に対応(10万店)
- ③ 新ブランドによる新販売方式・チャネル展開
- ④ 道の駅・NEXCO・国税案件等の獲得



省力化(セルフ)分野

戦略: 人手不足に対応

→ 省力化時代対応セルフシステム!

- ① ホテル無人チェックインシステム
- ② 飲食店セルフシステム



省力化



デジタルサイネージ分野

店舗様の最大のテーマは集客

→ ラスト1マイルを制覇する!

- ① フルカラー戦略にシフト(価格競争力追及)
- ② 共通プラットフォームで顧客満足向上
- ③ 満空システムの提供
- ④ 新ブランドによる新チャネル展開



業界
シェア
NO.1
を拡散



大型ビジョン分野

特需に
乗る

- ① オリンピック開催、
スポーツビジョンの普及
- ② IR法案可決による
インタビュン普及



まゆ玉事業分野

- ① まゆ玉BOXの販売
- ② ホテル直営・フランチャイズ展開
- ③ ルーラー型ホテル(まゆ箱)展開



6.1 LEDサイネージ(パブリシティ)

2018年7月13日

株式会社TBグループ

業界トップクラス・ウルトラ高精細フルカラーLEDディスプレイ

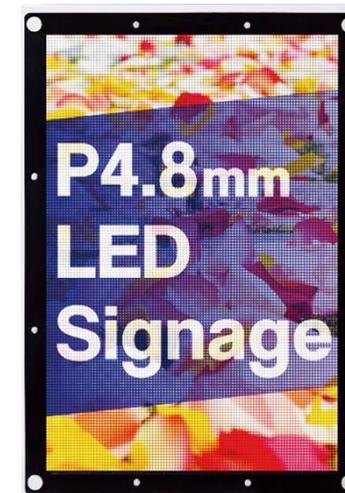
アドリッチ 「ADRICH」新発売

株式会社TBグループ(本社:東京都文京区、社長:村田三郎)は、高精細映像コンテンツをアピールできる4.8mmピッチウルトラ高精細フルカラーLEDディスプレイ「ADRICH(アドリッチ)」を7月13日より発売を開始いたします。

本製品「ADRICH(アドリッチ)」はフルカラーチップLEDを狭ピッチ(約4.8mm)で配したウルトラ高精細の小型LEDディスプレイです。LEDは超高輝度タイプで遠くからの視認性に優れ、液晶ディスプレイでは困難だった広範囲への訴求を実現しました。表示面に16,224個のチップ型LEDを配すことで、鮮やかな動画表現はもちろん、店舗軒先など屋外に設置した本機にQRコードを表示してWebの店舗紹介サイトやブログに誘導するなど、これまで小型LEDディスプレイでは困難だった新しい訴求スタイルを実現します。

また筐体は軽量設計・薄型デザインでスタンド設置はもちろん、壁面取り付けなど幅広い設置ロケーションを実現します。

明るく細密な表現が可能なアドリッチは店舗や施設のアピールポイントを静止画や動画でわかりやすくPRすることができ、リッチコンテンツを屋外でアピールしたいユーザー層(飲食店や小売業、サービス業などの一般店舗、商業施設や公共施設など)の期待に応えます。



6.2 LEDサイネージ(パブリシティ)

2018年9月3日
株式会社TBグループ

シリーズ初のコンパクトなフルカラーLEDディスプレイをバリュー価格で実現！
「エコリアジュニアカラー」新発売

株式会社TBグループ(本社：東京都文京区、社長：村田三郎)は、コンパクトサイズの屋外仕様フルカラーLEDディスプレイ「エコリアジュニアカラー」を本年9月3日より発売開始します。

「エコリアジュニアカラー」はこれまで単一色のみでの表示しかできなかったジュニアシリーズ初のフルカラーLEDディスプレイであり、最もお手頃なフルカラーディスプレイのエントリーモデルです。新たに導入した部材調達/製造プロセスにより、フルカラーモデルでありながら大幅な価格ダウンを実現し、単色機(白色)同等の価格を実現しました。

LEDはRGB3in1のチップ型を採用し、フルカラー階調制御することで店舗や施設のイメージカラーに合わせた表示が可能です。チップ型は混色性に優れるため、広い視野角から見るだけでなく、遠くからはもちろん、近距離で見てもコンテンツを美しく表示します。



店舗や施設のイメージカラーに合わせた
コンテンツを表示できます!



事業テーマ：LCMH(ローコスト・マネジメント・ホテル)パッケージ、支援事業

■事業展開セグメント

- ① Sleepingbox®まゆ玉®の販売事業
ホテル・空きテナントを
活用したまゆ玉の販売。



- ② 遊休地へのトレーラー型まゆ玉販売事業
市街化調整区域
・離島・駐車場等
への合法的なまゆ玉
トレーラーの販売。



- ③ 無人清算機によるLCMH支援事業
2018/6フロント無人化に
対応した無人フロント
チェックイン機の販売。



- ④ 人手不足に対応して人材支援事業
技能実習生/シルバーパワーを
活用した育成・紹介支援



⇒LCMHをコアコンピタンスとした宿泊業界へのトータル支援事業へ

7.1 まゆ玉(パブリシティ)

報道関係者各位
プレスリリース

平成30年10月2日

株式会社T Bグループ

カプセル型宿泊設備 Sleeping Box®『まゆ玉®』を導入！
ホテル内の宴会場を用途変更した新しい宿泊スタイルを実現

株式会社T Bグループ（本社：東京都文京区、代表取締役社長：村田三郎、以下：T Bグループ）は、新規事業として市場参入したカプセル型宿泊設備 Sleeping Box®『まゆ玉®』を、サンルート国際ホテル山口（本社：西日本医療サービス㈱、代表取締役社長：吉永英人）内旧宴会場にオープンした同社、山口市内初のカプセル型ホテル「ファーストキューブ山口様」に導入致しました。

ファーストキューブ山口様では、訪日観光客の急増による客室不足の解消を喫緊の課題としており、また稼働率が伸び悩むビジネスホテルの宴会場スペースの有効活用を検討していたところ、下記の目的と条件が Sleeping Box®『まゆ玉®』のコンセプトと合致し、宴会場の一部に Sleeping Box®『まゆ玉®』32室の導入が決定しました。

- 【目的】 稼働率の悪い宴会スペースの有効活用
“宿泊費用を安く抑えたい”“カプセルホテルを体験したい”など新しい顧客層の開拓
- 【条件】 一般的に増築や大規模なリノベーションが必要となる客室の増設を短期間・低コストで実現したい

【Sleeping Box®『まゆ玉®』の製品コンセプト】

昨今の急激な訪日観光客の増加による宿泊需要の高まりと宿泊施設の逼迫が予測できることから、宿泊施設向け客室設備として Sleeping Box®『まゆ玉®』を企画・開発し市場参入いたしました。近年カプセル型ホテルが日本発祥の独自の文化として訪日観光客から高い注目を浴びていることを受けて、T Bグループが開発した Sleeping Box®『まゆ玉®』は“また泊まりたくなる”をコンセプトにインバウンドをイメージした和テイストデザインや幅広い客層に対応した快適性を兼ね備えたカプセル型宿泊設備です。

また泊まりたくなる
SLEEPING BOX®



2018年
10月1日 (Mon) OPEN

First Cube Yamaguchi
ファーストキューブ山口
山口市中心！
リーズナブルに、アクティブに！
山口市内初のカプセルホテル登場。
団体やスポーツのご利用にも最適です。



7.2 まゆ玉（パブリシティ）

平成31年1月4日

報道関係者各位
プレスリリース

株式会社TBグループ

ホテル初！ トイレ・シャワーの使用状況が一目瞭然！
コンパクトホテル『まゆ玉キャビン』（横浜区内）にIoTサニタリーサイネージを導入し、
お客様の利便性向上と利用状況のデータベース化を実現！

株式会社TBグループ（本社：東京都文京区、代表取締役社長：村田三郎、以下：TBグループ）は株式会社ウイン・コンサル（本社：北海道札幌市、代表取締役社長：松岡雅史、以下：ウイン・コンサル）が商業施設向けに開発した「tomole」を、TBグループが直営展開するコンパクトホテル『まゆ玉キャビン』（横浜区内）に導入することにより、トイレ・シャワーなどの使用状況を、館内のデジタルサイネージを通じてリアルタイムに、宿泊者およびスタッフにお知らせするIoTソリューションを実現します。

これにより、昇降が伴うカプセルベッドの上段からでもトイレやシャワーの使用状況を随時確認できるようになり、限られた個数のトイレ・シャワーの渋滞を解消することでスマートな利用環境を実現します。また、使用回数などの情報をスタッフが把握できるため、適切なタイミングでの清掃が可能となり、人手不足が深刻なホテルスタッフ業務の省力化に貢献します。

なお、ここで得られる情報をデータベース化することにより、今後のホテル展開に有効活用して参ります。

今後、TBグループが展開するコンパクトホテル『まゆ玉キャビン』は、当社のPOS技術を採用したホテルセルフチェックインシステム、サイネージ業界シェアNo. 1のノウハウを注入したホテルサイネージ、スマートロックシステムなどIoT及びAIを活用した企画・開発・導入を推進し、快適且つローコストなホテルマネジメントシステムを実証してまいります。

【導入の目的】

① 宿泊者の利便性向上

人感センサーや開閉センサーによりトイレやシャワーの使用状況を離れた場所から確認できます。特にコンパクトホテルの昇降が伴うカプセルベッド上段からでも随時確認できます。

② スタッフの作業性向上と清潔環境の提供

トイレやシャワーの使用状況をリアルタイムで把握することができるため、適切なタイミングで清掃することが可能となります。サニタリー環境を常に清潔に維持提供することができ、顧客満足度の向上に繋がります。

③ 使用頻度などのデータを活用した最適な設計と運用の提案

トイレやシャワーの使用状況をデータ化して分析することで、今後ホテル展開におけるサニタリー設備の最適な数量や配置、また運営フローの策定などに幅広く活用できます。



8. ニュービジネス スマートヘルスケア分野

＜HosPad導入事例 健診システム＞



HosPad 健診誘導システム
導入事例

医療法人 松柏会
名古屋ビルセントラルクリニック
最先端医療機器による
ハイレベルな健診施設

■システム導入：2016年4月

2016年4月1日、名古屋ビルセントラルクリニックは、テルミナセントラルクリニックより移転し、最新鋭の検査装置を備えた検査・診療施設として開業いたしました。開院に伴い、(株)ホスピタルネットとの共同開発で誕生したのが「HosPad健診誘導システム」です。システムの導入経緯と効果などについて、院長と現場スタッフの方々にお話を伺ってまいりました。

院長 芳野 純治さん

スマートな健診施設

まず最初に、名古屋ビルセントラルクリニックの院長、芳野純治さんにお話を伺いました。
Q、クリニックのコンセプトを教えてください。
A、「予防医療から、健診、健診後のフォローまで一貫した診療を受診者様に提供することです。」
「より質の高い健診を受診者様に提供するため、当クリニックでは名古屋大学と共同研究を行っています。同意をいただいた受診者様を対象に、健診データを名古屋大学に提供、解析して、病気の予防に活用しています。」
「クリニックの特長として、最新の検査機器を備えていることと、専門外来が充実していることが上げられます。健診で異常が見つかってもしっかりと対応することができます。」
常に受診者様第一の考えのもとに尽力する名古屋ビルセントラルクリニック。そんなクリニックが考えたのは、受診者様の満足と効率的でスマートな健診運用。
その答えは、HosPad健診誘導システムにありました。

健診誘導システムの機能

次に、健診誘導システムのプロジェクトリーダーであり、検査技師でもある、関根貴文さんにシステムの運用についてお話を伺いました。
Q、システムの運用方法を教えてください。
A、「受診者様が健診ホールに入る際に HosPad をお渡しします。両面には次に行く場所が表示されるので、その誘導案内に沿って検査を受けていただけます。」
両面には検査の詳細説明が表示されるため、受診者への検査説明の手間が省けます。また、目的地が記された院内MAPも見られるので広い施設内でも迷いません。「管理端末で混雑状況を確認して受診者様を空いている検査へ自動誘導できるので、検査の待ち時間も減りましたし、現場の状況を見て動き回る必要がなくなりました。効率良く動けるようになったことで、人員を適所に配置できるようになりましたね。大切な所に目が行き届くようになって、導入前よりきめ細やかなサービスをできるようになりました。」
「検査漏れもなくなりました。健診誘導システムは、設定した順番通りに誘導できるので、人的ミスで必要な検査を飛ばしてしまうことがなくなりました。」
他にも、検査結果を機器から自動入力でき、誤入力の防止

管理端末で受診者をおいている検査に誘導できる

受付後、HosPadが渡される

同僚的デザインの待合室

＜スマートヘルスケア概要図＞



カーテン開めて
Morningなどカーテン自動開閉デバイス対応

電気をつけて
Philips Hueなど照明デバイス対応

テレビをつけて
Harmony Hubなど赤外線デバイス対応

看護師さん呼んで
ナースステーションのAISピーカー呼び出す

今日の検査スケジュール教えて
Google カレンダーに書き込めば可能

病室テレビのスマート化 (IPTV&AI対応)

- ① 各種コンテンツ／人気動画配信サービス
- ② AISピーカーによる病院のインフォメーション提供
- ③ AISピーカーによるアラーム・タイマー設定、ニュース・天気予報など各種情報の取得
- ④ 音声でのテレビ、照明やエアコンの制御
- ⑤ ランドリーの使用状況をリアルタイムに通知
- ⑥ 見守り機能
- ⑦ インフォームド・コンセント(*) のサポート

(*) 治療や手術などに際して、医師が病状や治療方針を分かりやすく説明し、患者の同意を得ること

<在宅スマートケア ビジネス（概要）>

- 見守りサービス(※)により、介護職員の巡視業務の負荷を軽減。
 ※見守り対象者のバイタルデータや室内での行動などを検知し、状態の変化を常時確認する
- オンライン上で見守りセンター／介護施設／家族などとのTV電話が可能（医療施設での遠隔診療の受診も可能）

